

神奈川県山梨教会連合会だより

かりん

コロナ禍で変わる生活と変わらぬ信心

金光教神奈川山梨教会連合会

副会長 川込光貴



皆さん、こんにち。今年も残すところ、あと僅かとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年

は、春先から新型コロナウイルス感染症の影響で(いつもの)生活について改めて考える1年でありました。

普段、当たり前のように過ぎていた事が出来ないもどかしさがあったのではないのでしょうか。

私達の暮らしは、日々、場面々々で変化して行くもので、今、その瞬間の積み重ねで過ぎて行きます。神様への感謝があったとしても、あまり深く考えないで同じ様な毎日を送る、言い換えるなら、無事に今日

1日を終える事が出来た、明日は何をしようかな...と終わっていたのでは無いでしょうか。

それが、今年、感染症の拡散防止の為にと自粛生活を余儀なく送る事となり、三密を避ける生活やソーシャルディスタンスを気にする生活、更には、越県移動や集会の自粛など、今迄、特に考える事も無かった事を気にしなければならなくなりました。その様な中で、今迄に無いやり方を考える生活に変わって行きました。

通信社会の昨今、リモートを駆使しての会議などは、直接、顔を会わせなくても話を進める事がタイムリーに行われたりと、特に自粛生活で狭まった時間や空間を広げてくれました。

ただ、周りがどれほど変わろうとも、私達の生活の元となる信心は、何ら変わる事は、ありません。金光様のご信心を頂く私達は、このような状況にあっても「あいよかけよで立ち行く」生活を常に送りたいものです。

首都圏フォーラムで作成しました、「新型コロナウイルス流行終息祈願詞」にもあるように、「人を助けて、わが身助かる信心」を求め現し、自分自身も大切ですが、他人の身も大切に作る気配りを持ち合わせなくてはなりません。

ところで、話は、ガラリと変わりますが、世間では、アマビエなる疫病を予言する妖

怪が、このコロナ禍において有名になりました。同じ様な事が、山梨でもあったそうです。

先日、県立博物館で古文書の現物を見て来ましたが、江戸時代の末頃、世間では、コレラが大流行した際に、とある名主さんの枕元に「ヨゲンノトリ」という、頭が2つあるカラスに似た鳥が現れて、妖怪アマビエと同じ様に、私の姿を書き現し、朝夕拝めば疫病が終息すると言われたと書かれた日記が見つかったそうです。

どこにでも同じ様な逸話ってあるもんだと思いました。月例祭のあと、お話の前に御神伝を拝読させて頂いていた折り、ふと、アマビエやヨゲンノトリの事を思い出しました。

形は違えど、私達にも同じ事があつて今に至るなあって事を改めて考えさせられました。

「今般、天地乃神より生神金光大神差し向け、願う氏子におかげを授け、理解申して聞かせ」とあるように、神様は私達に、金光様を差し向けて下さったんだと思えました。

今は、辛抱の時です。明日を楽しみに日々の生活に感謝していきましょう。



各教会から

「霊地応援チャレンジ」の
様子が届きました

○登戸教会の取り組み

6月に教会で仕える感謝祭の案内に、コロナ禍で売り上げが乏しく、窮状を訴える霊地の宿泊施設や商店に対して、少しでも協力させていたかどうか、と信者さんに案内しました。信者さんからは、ご神酒、お献備の袋、ご神米入れ、霊代を新しくしたいので購入してほしい等の声が出て、霊地のお店から取り寄せました。また教会では、感謝祭のお直会として、お饅頭とお煎餅を送ってもらって、参拝した信者さんに渡しました。思えば霊地にある多くのお店から、少しでも商品を取り寄せれば良かったと反省しました。ご本部ご大祭の時には、霊地はとても活気があります。賑やかな霊地が早く訪れるよう、切に願っています。

○横浜西教会の取り組み

横浜西教会では、霊地応援チャレンジ！の取り組みとして、御霊地のいくつかのお店から商品を取り寄せ、お広前に特設コーナーを設けて販売しました。

○古川酒店さんから、神露と天地の雫の四合瓶各種(吟醸酒、純米酒など)、
○菩提樹の実さんから、パウンドケーキ、クッキー、マドレーヌ各種
○備中堂さんから、みかげ饅頭、ピーナツせんべい、一口カステラ
○岡本神器店さんから、お献備用の金封、御神米入れ
信者さんに買って頂きましたが、とても好評でした。「御霊地のお店が大変だとは気がききませんで難しい」「御本部参拝ができない中、いつもおみやげに買っていた物が買えて嬉しい」などの声が聞かれました。

↓横浜西教会の
霊地応援コーナー



○相模原教会の取り組み

連合会から、霊地の商店がコロナウイルス感染拡大の影響を受け、疲弊しているとの状況に対して、霊地応援キャンペーンの案内を受けました。

早速、相模原教会では少しでもお役に立てるのであればと思い、信徒の方々にその旨を伝え参加を呼びかけました。みなさん協力的で、賛同して下さった方々から、お酒の賀儀、酒かす、金光煎餅、金光饅頭、お献備袋、ご神米用紙、絵本などのオーダーを受け、即座に関係の店舗に注文させていただきました。注文の品が届くや否や、代金を送付させていただきました。注文品は、全て必要な物ばかりですから、ご信徒の方々も助かったと喜んでおられました。



コロナの中の御本部参拝は

鎌倉教会 吉岡裕子

全国信徒会の会議のため、年に数回は御本部に参拝することができていた。毎回ジパングを利用するので、岡山まで「ひかり」で4時間ほどかかる。朝食用のおにぎりとかーヒーを買って乗り込み、本を読んだりパズルを解いたりして、気ままにのんびりと過ごす独り旅は至福の時間である。それが、新型コロナウイルスというものが出現して以来、御本部参拝もままならなくなり、会議もインターネットで行なわれるようになって、どこか心に隙間風が吹いているように感じられる。御本部はどうなっているのだろうか、金光の町は、いつもお世話になっている土佐家旅館、つちや食堂はどうしているだろうか、あれこれ気になることばかりである。

この度、いろいろな対策をした上で、各教会2名までの参拝の道が開かれ、先生に声をかけていただいて参拝させていただくことになった。鎌倉教会も間もなく稲村の地に移ることになるので、本来ならば、ここまで来させていただいたお礼参拝を皆でしたいところだけれど、そうはいかず、私が鎌倉教会を代表して参拝させていただいたという訳だ。

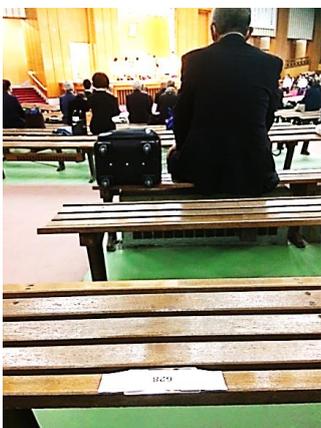
準備をしているうちに、コロナの不安より楽しみが増していった。どんな人に会え

るだろうか、福田美亮先生の本も買いたい、つちや食堂のラーメンも久し振りに味わいたい、井戸の御神水もいただいでこよう、御神酒も買って子どもたちに届けよう、そして、教会の皆さんにお土産を買おうなどと思っているうちに、コロナの不安も消え去って、ウキウキと楽しくなってきた。当然、マスク、消毒液、ウェットティッシュなども忘れないように鞆の中に詰め込んで、これまでと同様に、新幹線の独り旅を満喫させていただいた。車中は、半分位は席がうまっていただろうか、隣の席は行きも帰りも座る人はなく空いたままであった。

さて、気になっていた金光の町はというと、駅の改修が終わって南口が利用できるようになっていた。また、金光の町も以前よりは整備されているように思えた。キョロキョロしていると、小さい掲示板を見つけた。その中に、全国信徒会のメンバーの川柳があった。

「嗅覚は 大丈夫かと 屁をかます」

この句は、「はなちゃん」こと、花本さんの



受付席の番号を貼ってある。祭場内の様子。座り座席の番号を貼ってある。写真が番号札です。

句で、「あいよかけよ」誌で紹介されていたものだ。花本さんは、金光新聞の俳句にも選ばれていて、毎回楽しく拝見させていただいている。その花本さんにもお会いできたよううれしかった。次に、鎌倉教会の人たちのお土産を買いに立ち寄ったお店では、また、全国信徒会でお世話になっている方で、金光の町づくりでもご活躍の人との久し振りの再会がうれしかった。そして、つちや食堂のラーメンもおいしくいただいた。参拝では、受付を通り検温をして、案内されるままに、お広前、祭場へと進んだ。

祭場は指定席となっていて、三密にならない配慮がされていた。ここまでの準備はいかばかりだったろう。大勢のスタッフの方々にも心よりお礼申し上げたい。

こういうことがあって、何ごともない日常がどんなにありがたきことかと、またまた思い知らされたのでした。コロナが治まって、皆が心おきなく参拝できる日の来ることを願うばかりである。

大阪初代教会長であられた白神新一郎先生は、コレラが蔓延している大阪へ、何としても人々が助からねばと布教に出られたという。このコロナの終息を祈るとともに、私達はどうすればよいのだろうか。コロナからのメッセージは何なのだろうか、私は神様からのメッセージと捉えてならない。そんな子どもが去来している今日この頃なのです。

12月5日(土) 15時から、今年中止となつた「みんなのつどい」に代わって、クイズ大会が開催されました。

といっても、一会場に集まって…ではなく、今流行りのリモートでの開催でした。ZOOMという会合の場を提供してくれるネットサービスを使って行われ、参加者は、司会の生麦教会を始め、神奈川、横浜西、子安、丸子の5教会から15名でした。(PC画面から見えない人も含む)

画面越しに揃った各参加者は、思い思いに近況を報告し合ううちに時間となり、まずは司会の今村則子先生(生麦教会)のハイテンションな開会宣言から始まりました。司会画面の背景には、「ZOOMで年末クイズ大会！」と大きく書かれたポスターが貼り付けられ、そのテンションとビジュアルに、参加者一同、半ば強引にクイズの世界へ連れて行かれてしまいました。

ご祈念、会長挨拶と進み、各参加者から自己紹介を兼ねて意気込みが述べられました。さあよいよ…と思つた次には、各参加者への応援メッセージが紹介されました。それぞれ縁の方からのメッセージに、目頭が熱くなったところで、ようやくクイズ大会が始まりました。

事前に届けられた回答用のスケッチブックとマジックの確認が行われ、さあ記念すべき第一問目は、このところよく耳にされる方も多いと思いますが、「鬼滅の刃」の問題でした。ちなみに私は分からずに、画面の外にいた娘に教えてもらいました。

他、問題をいくつかご紹介しましょう。
○教祖様が養子に入られる前の苗字は何でしょう
○大人のカエルは「ケロケロ」と鳴きますが、子どものカエルは何と鳴くでしょう
○天地書附が定まったのは何年でしょう。
○「8・999」この鳥の名前は何でしょう。
○次のうち俳句の季語はなんでしょう。(正解は「山笑う」でした)

「Zoom で年末クイズ大会！
神奈川山梨 No 1 はウチだ！」
が開催されました

などなど、金光教に関する問題から、などなど、そして教養を必要とするものまでバラエティに富んだ問題が出され、楽しませていただきました。

結果、正解数7で子安教会チームと丸子教会チームの同時優勝で、豪華賞品を

分け合いました。

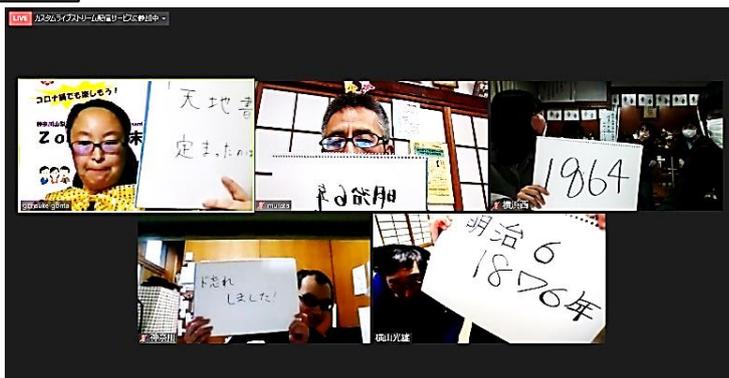
閉会に際して連合会長より、「こうした形でも楽しい会ができることが分かっています。ありがとうございます」と振り返って挨拶があり、今後の行事の持ち方にも意義ある大会が幕を閉じました。

この大会は、動画配信サイト「YouTube」でも

同時配信され、再生回数38回でした。司会始め運営のご苦勞に感謝申し上げますとともに、来年度も各行事を通して有意義な交流がなされますことを願います。

(村田光治)

クイズに回答している様子↓



金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田信二

〒245-0017 横浜市泉区下飯田町926・23
金光教横浜西教会内